



ふしぎな銀の木

まつおかきょうこ いちかわまさ こ ふくいんかんしよてん
ウェットタシンハ再話・絵 松岡享子・市川雅子訳 福音館書店

ある日、美しい銀の木に、銀の花がさいて、銀の実が
なり、木の上で銀のオンドリが三たびときをつげるとい
夢をみた王さまは、三人の王子に、その木をさがし、もち
かえるよう命じました。上のふたりの王子は旅をあきらめ
ましたが、ゆうかなな末の王子は、森の隠者にみちびか
れ、神秘の洞窟をみつめました。

ヘビの大王を殺し、あらわれた美
しい乙女に、自分を殺さないと洞窟
をでられないといわれた王子は、な
やんだすえにある決心をします。

スリランカの昔話です。

